

元気おおとよは、
大豊町を元気にしたい人が集まった
民間の団体です！

2015 秋号

元気おおとよ新聞

発行元：特定非営利活動法人 元気おおとよ <http://www.genki-otoyo.org> 平成27年11月1日発行 No.11

移住者紹介のコーナー

はじめまして！今年4月より大豊町佐賀山に移住してきました中平です！
私は神奈川県の出身ですが、父が高知県大月町の出身ということもあり高知県に縁があります。

祖父は大月町に在住しており、今は高齢のため引退しましたが、お米を作って農業をしていました。私は、汗水流し一生懸命にお米を作る祖父の姿、そのお米が好きで、そのお米を食べて20年間生きてきました。私の体の8割は祖父のお米でできていると思います。そんな祖父を尊敬し農業という道を目指しました。



実家は非農家で、農業をして生きていく地を探していた時に大豊町と出会いました。初めて来た時、この圧倒される山々、澄んだ水に感動しました。そして、一番印象に残ったのは、この大自然の中に住む人達の魅力でした。

都会から来た何も知らない若者を、この大自然のように懐の大きい人たちが優しく受け止めてくれました。ほかの県や町でも実習をしてきましたが、一緒に農業をしようと言ってくれる仲間ができたことや、大豊町の波長が私の波長と重なったことが私に移住を決断させました。

私はこの大豊町で、生きるということを真剣に楽しみたいと思っています。そのために、よりよい元気なおおとよを、大豊町の皆さんと作って行きたいなと思っています！

皆様これからよろしくお願い致します！

中平拓海（なかひら たくみ） プロフィール

1992年6月5日生まれ 神奈川県横浜市出身

趣味・ギター（練習中）、星を見ること、サッカーなど…

「ふるさと回帰フェア2015」に大豊町として出展しました！



写真上下：昨年を上回る来場者で盛況な会場の様子



9月13日（日）に東京国際フォーラムで開催された「ふるさと回帰フェア2015」に大豊町の移住相談員として出展しました。

ふるさと回帰フェアは、ふるさとでの暮らしを希望する都市の住民と、受け入れたい地方自治体の出会いの場です。出展した受け入れ地方自治体は約300。北は北海道から南は沖縄まで、全国各地の移住相談員が町のアピールにしのぎを削りました。

当日はなんと1万6000人のお客様が会場を訪れ、会場は活気に溢れました。このふるさと回帰フェアは毎年、来場者数が増えているとのことです。

さて、肝心の大豊町への移住相談件数は1日を通して5組でした。

相談内容で多いのはやはり「移住した場合には仕事があるのか？」と「住む家はあるのか？」というものでした。家族連れの場合は「子供の教育環境」や「病院・医療」です。

中には「大豊町で民宿をしたい」、「未経験だが農業で働きたい」といった相談もありました。今、大豊町に移住されてきた方が民宿や農業で生計を立てている実例をお話しすることができました。

最近「地方移住」が一種のブームのように言われています。しかし大きく見ればブームかもしれませんが、ひとりひとりの相談を聞いていると、皆さん「移住したい（又は、自分のふるさとへ帰りたい）けど、本当にできるのだろうか？」という切実な悩みを抱えています。

ですので、大豊町への移住を検討している方には、大豊の暮らしの良い部分と厳しい部分を責任持って説明しなければならないと改めて思いました。また、今後こういった移住相談会に出展する時は、事前に町内のお仕事情報（人材募集の情報）を集めたり、行政が行っている事業の支援制度など、移住希望者のプラスになる旬な情報をご案内できるように準備したいと思っています。

町内の皆さんも、事業で人材募集するような場合には元気おおとよに情報をお寄せください。お仕事情報として移住希望者に案内したいと思います。よろしくお願いします。（太田正弘）

「土佐の豊穰祭」 in 嶺北！！



高知県内7会場にて、その土地ならではの食材、その土地ならではの食べ方で食べつくしていただく！まさに食の祭典「土佐の豊穰祭in嶺北」が、去る10月12日（月）に土佐町・土佐れいほく農協本所前広場にて、開催されました。

土佐あか牛にはちきん地鶏、アメゴにアユ、米粉に鹿肉などなど、嶺北ならではのお店が30店舗以上立ち並び、いづれも長蛇の列になっていました。その中で、我がNPO法人元気おとよが出店した「おおとよガレット」は2番目に長い列を作り、大人気でした。焼きたてのソバ粉のクレープを味わってもらうために、スタッフ一同頑張ったおかげで、準備していた約200食を完売することができました。

いづれは大豊産のソバ粉で、という思いで「おおとよガレット」と名付けましたが、それだけではなく「NPO法人 元気おとよ」の活動をPRし、大豊のことを多くの方に知ってもらい興味を持ってもらうことが、本来の目的です。店頭では「元気おとよ新聞」を配布したり、スタッフがお客様とコミュニケーションをとったりして、十分にその目的を果たすことができたと思います。

また、ガレットを販売した売り上げから経費を除いた利益は、NPOが今後も町内外にむけて様々な活動を行うための活動費に当てています。また「元気おとよ」では、一緒に活動してくれる会員や活動を支援していただける会員を募集しています。今後とも皆様のご理解・ご支援をよろしくお願いします。（野田由美子）



「岩原灯りの里」に参加して



去る9月19日の夕方、家族3人で岩原の灯りの里祭りに出かけました。

暗闇が上がっていくと突然右手に千個のちょうちんの灯りが目に飛び込んできました。"おおっ"と声を上げ、車をおりて、ひととき棚田の提灯に見入りました。

会場の上っていくと広場では火踊りの人の周りを取り囲んでにぎやかでした。地元の人だけでなく、他地区から来た人、高知大学の学生さん、地域おこし協力隊の人、Iターンの人、Uターンの人、今移住を考えている人、いろいろな人達が笑顔笑顔で小さなお祭りを楽しんでいました。



今、私はそう遠くない南海大地震、近年巨大化する台風、明日は我が身の集中豪雨被害、強行採決された安保関連法案の今後、TPPの影響、消滅すると言われる大豊町、などなど不安定で不透明でとても不安な時代に生きていると思いますが、灯りの里祭りのように皆が協力して助け合い、ささえ合いながらにこやかにホッとできる町づくりができたらいいと思います。（渡辺薫）

始めました！パソコン出張相談所サービス

元気おとよでは、皆様からのご要望にお応えしてパソコンの出張相談所（有料）を開始しました。パソコンで困っている事、悩んでいることはありませんか？
元気おとよのパソコン講師があなたの「やりたい事」を応援しにご自宅まで伺います！

お問い合わせ・お申し込みは、元気おとよ事務所まで

☎ 73-1133（受付は平日の10:30～17:00）

